

科目名		授業形態	担当教員名	
実習前特別講義Ⅱ		講義・演習	奥村 智人・中尾 繁樹・中村 由果理・谷 和真 田中 義之・平口 昌広・菊森 清美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
小児関連では、読み書き障害にかかわる視知覚能力と学習との関連や、感覚統合訓練について講義でわかりやすく紹介する。そして肢体不自由児のポジショニングやかかわりについて学習する。 成人関連では、医療や福祉施設の実習で求められる衛生管理やベッドサイドでの介助等について、実技を通して学習する。失語症や運動障害性構音障害などのコミュニケーション障害の当事者と（実際に）対話を行う力を身につける。				
授業の到達目標				
臨床実習に向けて臨床上有用な知識や技術を修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	視知覚の能力と学習（奥村）			
2	視知覚の能力と学習（奥村）			
3	障害児教育の実際（中尾）			
4	障害児教育の実際（中尾）			
5	スクリーニングテスト解説（平口・菊森）			
6	スクリーニングテスト実践（OSCE）（平口・菊森）			
7	コミュニケーション障害者の評価の実際Ⅰ（田中・平口・菊森）			
8	コミュニケーション障害者の評価の実際Ⅰ（田中・平口・菊森）			
9	コミュニケーション障害者の評価の実際Ⅱ（田中・平口・菊森）			
10	コミュニケーション障害者の評価の実際Ⅱ（田中・平口・菊森）			
11	介護特別講義・演習（谷）			
12	介護特別講義・演習（谷）			
13	介護特別講義・演習（谷）			
14	看護特別講義（中村）			
15	看護特別講義（中村）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	100%	積極的に参加し、自主性をもって知識と技術を習得する。それぞれのまとめ・報告書の提出により評価する。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				